

---

# SNSを悪用した投資・ロマンス詐欺の 被害発生状況等について

---

警察庁



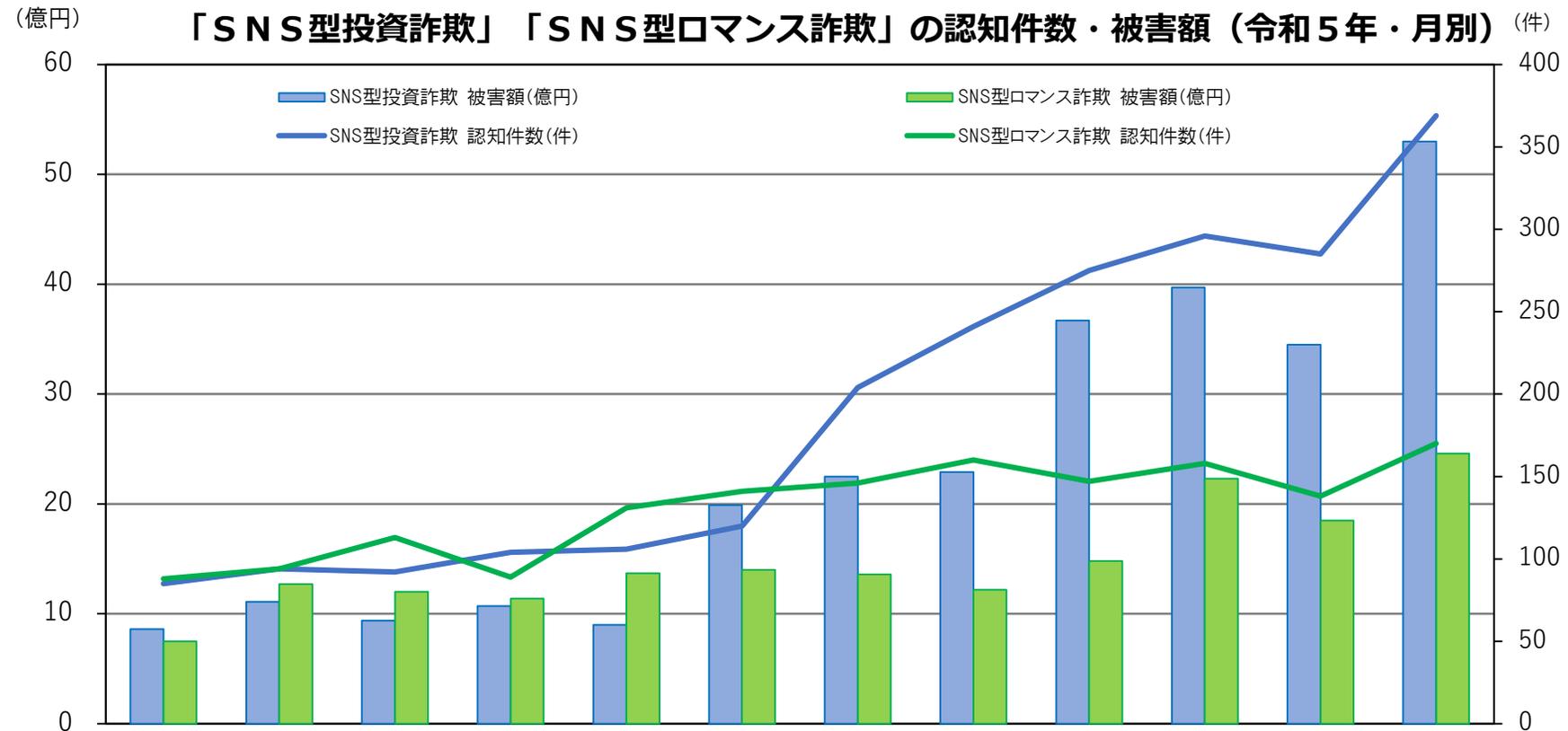
## ○SNS型投資詐欺

相手方が、主としてSNSを用いて投資を勧め、投資名目で金銭等をだまし取る詐欺

## ○SNS型ロマンス詐欺

相手方が、外国人又は海外居住者を名乗り、主としてSNSを用いてやりとりを重ねることで恋愛感情や親近感を抱かせ、金銭等をだまし取る詐欺

# SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数・被害額（令和5年・月別）



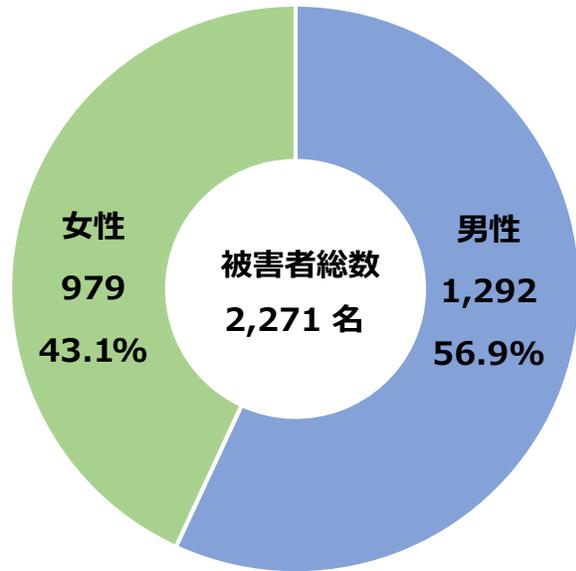
		R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R5合計
認知件数 (件)	SNS型投資詐欺	85	94	92	104	106	120	204	241	275	296	285	369	2,271
	SNS型ロマンス詐欺	88	94	113	89	131	141	146	160	147	158	138	170	1,575
被害額 (億円)	SNS型投資詐欺	8.6	11.1	9.4	10.7	9.0	19.9	22.5	22.9	36.7	39.7	34.5	53.0	277.9
	SNS型ロマンス詐欺	7.5	12.7	12.0	11.4	13.7	14.0	13.6	12.2	14.8	22.3	18.5	24.6	177.3

- SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺ともに昨年下半期の増加が顕著
- 1件当たりの平均被害額は1,000万円超

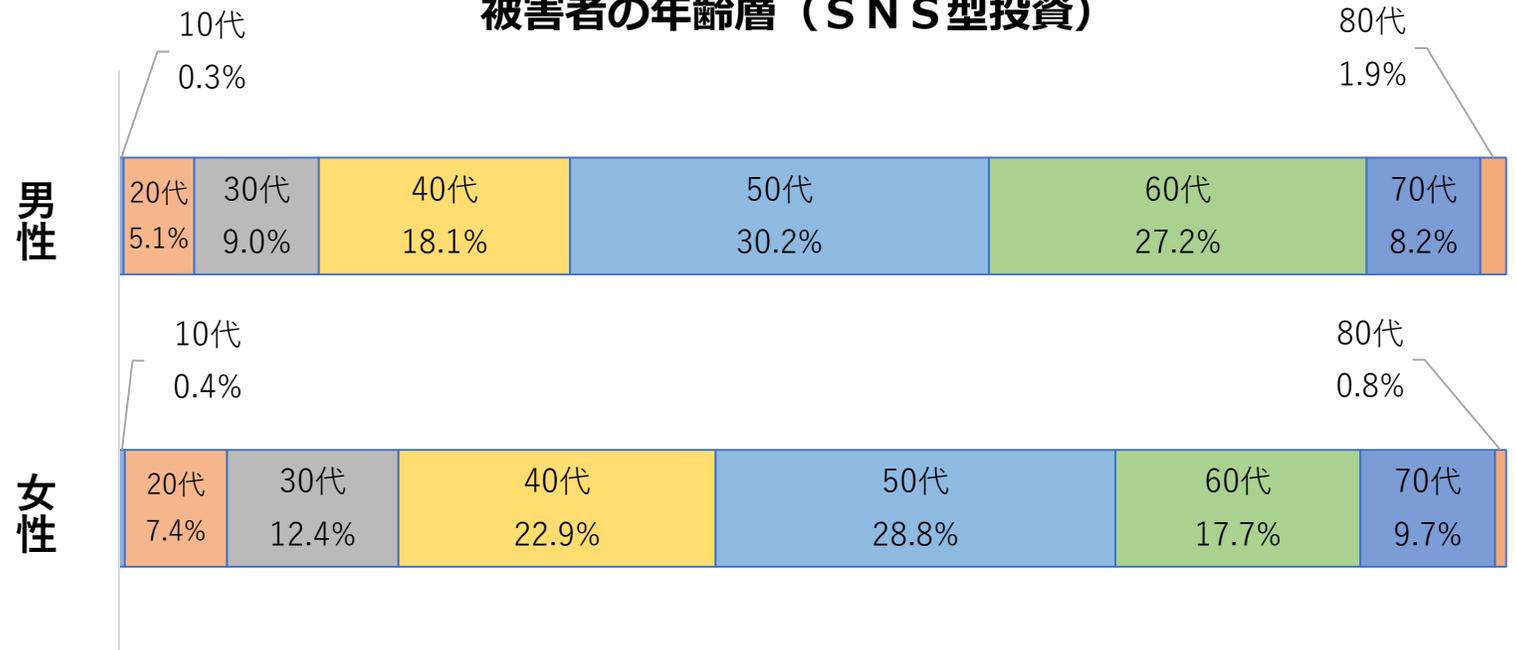


# SNS型投資詐欺の被害者の性別・年齢層（令和5年）

被害者の性別  
(SNS型投資)

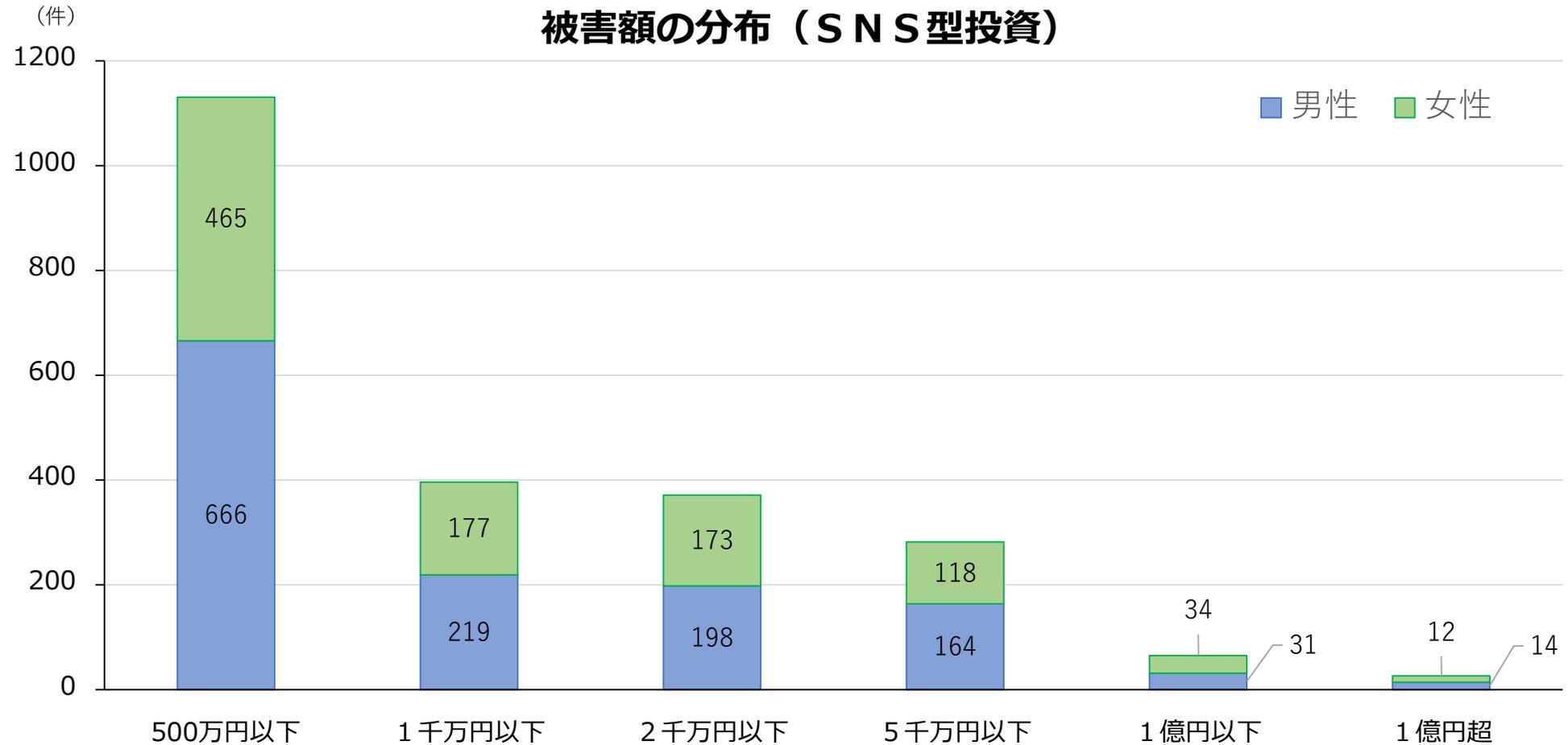


被害者の年齢層 (SNS型投資)



- 男性の被害がやや多い
- 男性・女性ともに40歳代から60歳代が多い

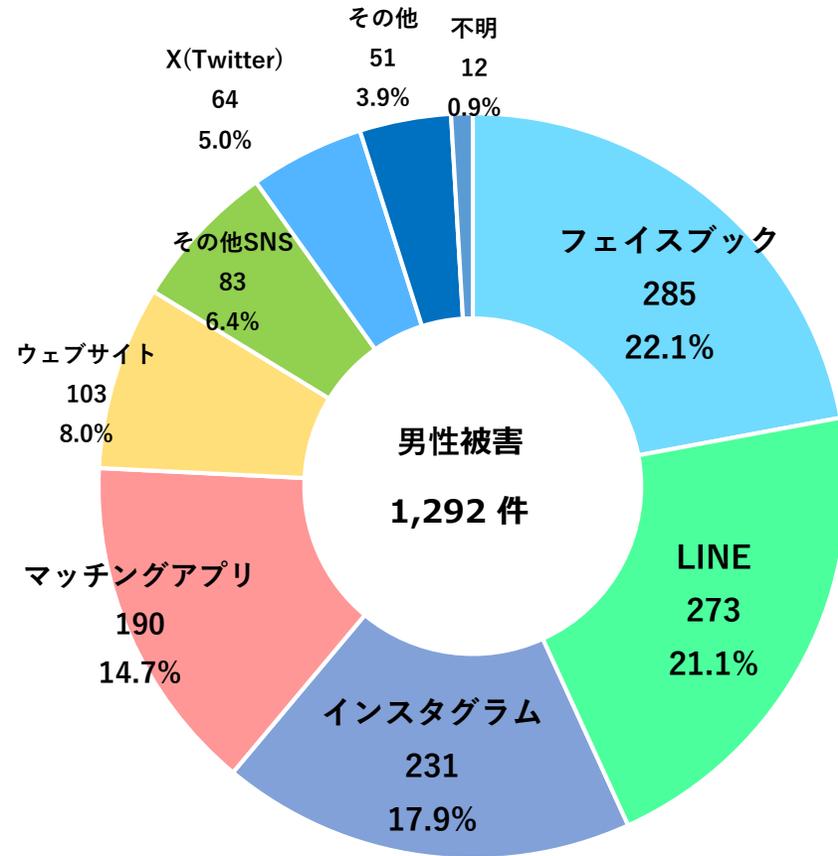
# SNS型投資詐欺の被害額の分布（令和5年）



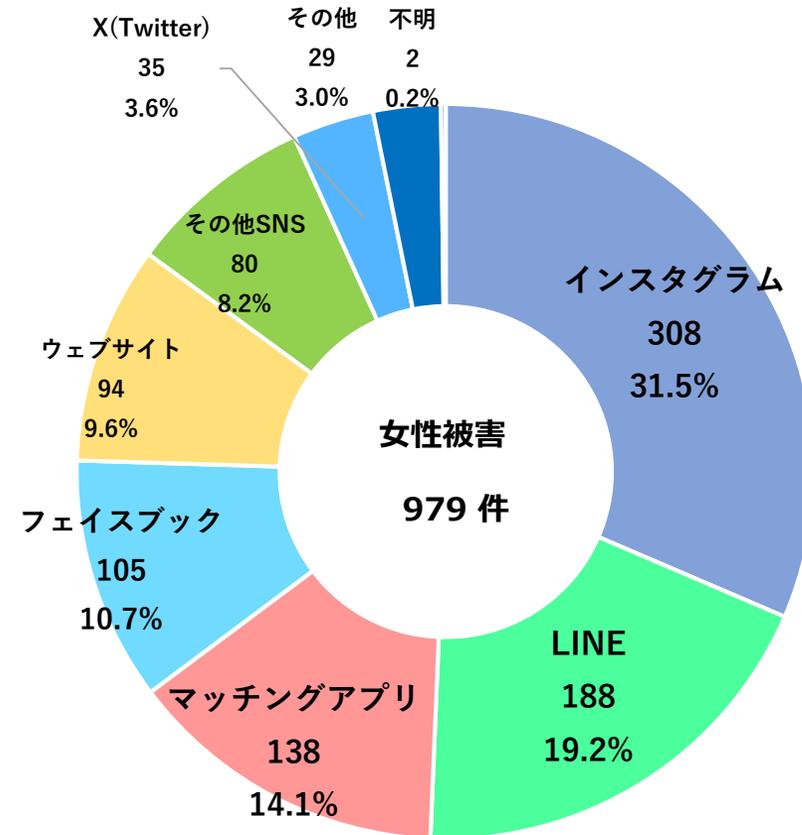
- 500万円以下の被害が多いが、1億円超の被害も発生
- 男女間で被害額の傾向に大きな差は認められない

# SNS型投資詐欺に悪用された連絡ツール等（令和5年）

当初接触ツール 男性被害



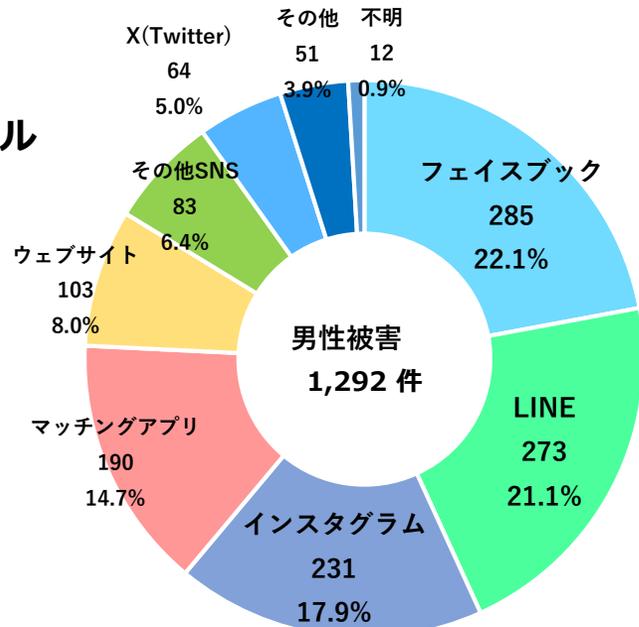
当初接触ツール 女性被害



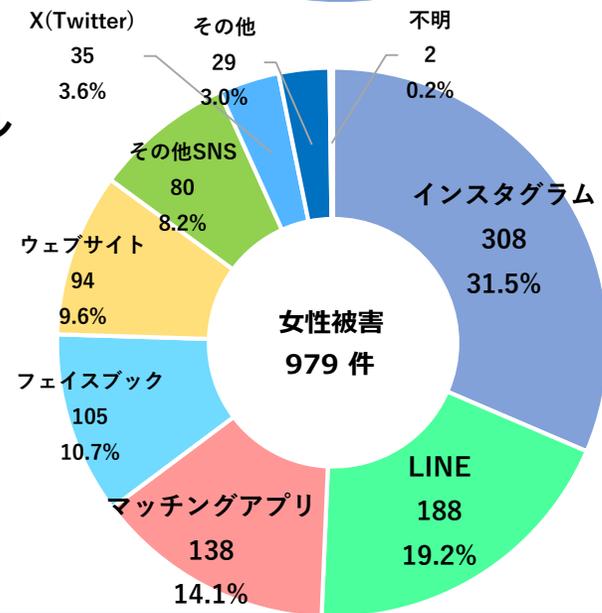
○当初接触ツールとして、いくつかの特定のサービスの利用が目立つ

# SNS型投資詐欺に悪用された連絡ツール等（令和5年）

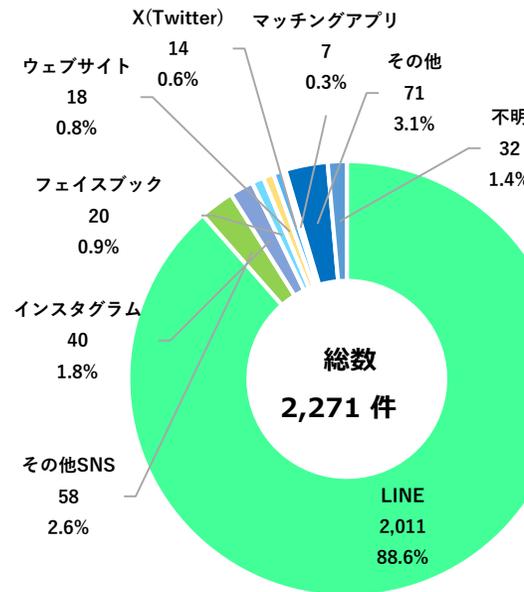
当初接触ツール  
男性被害



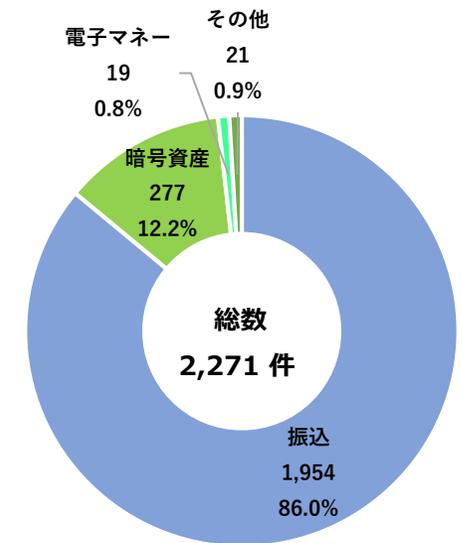
当初接触ツール  
女性被害



被害時の連絡ツール  
(欺罔が行われた主たる通信手段)



被害金の主たる交付形態

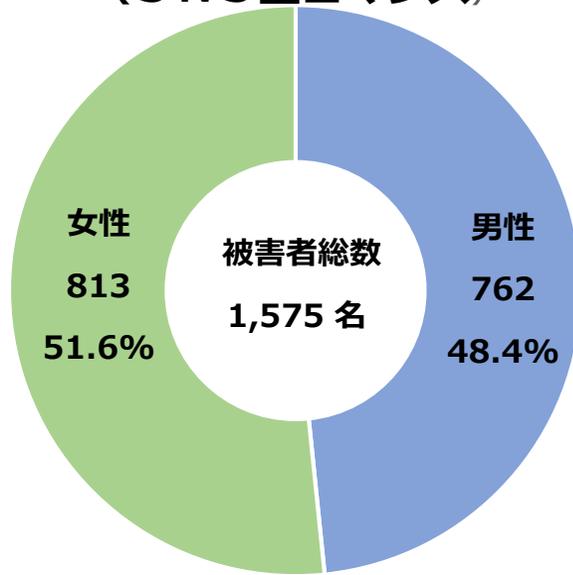


- 被害時の連絡ツールは特定のサービスが8割以上
- 交付形態は振込が8割以上

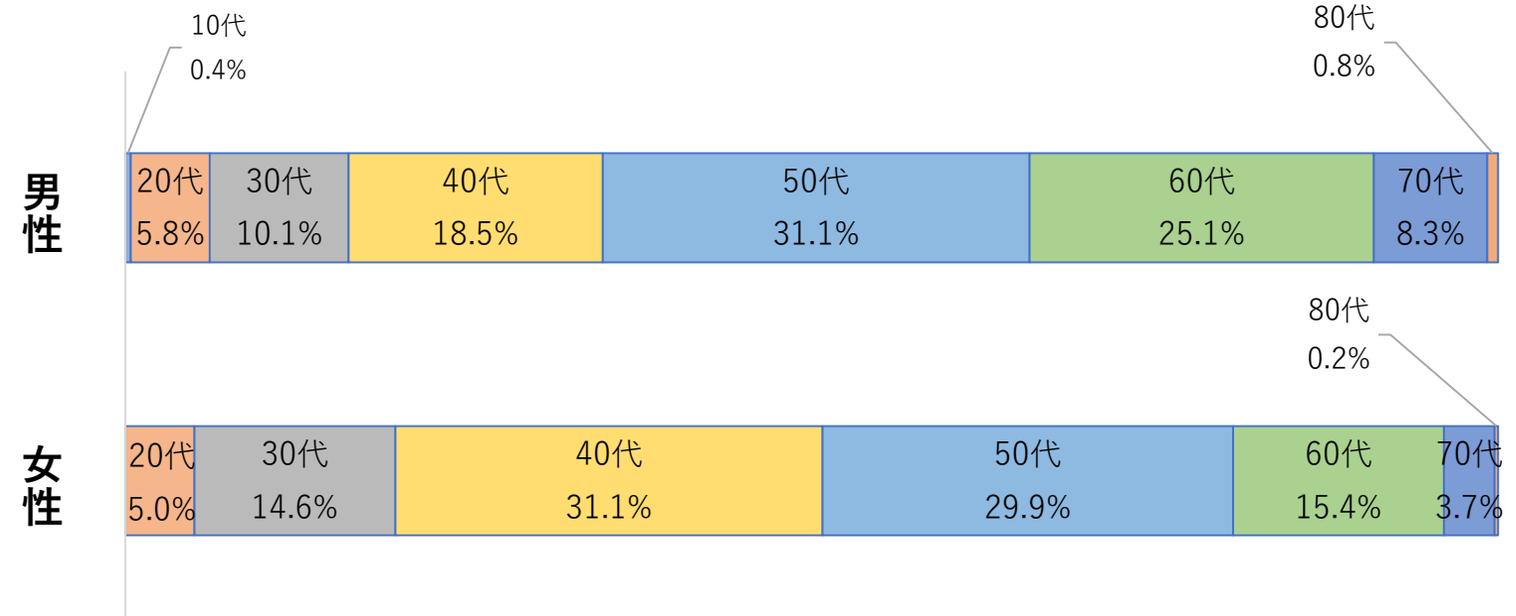
# SNS型ロマンス詐欺の被害者の性別・年齢層（令和5年）

## 被害者の性別

（SNS型ロマンス）



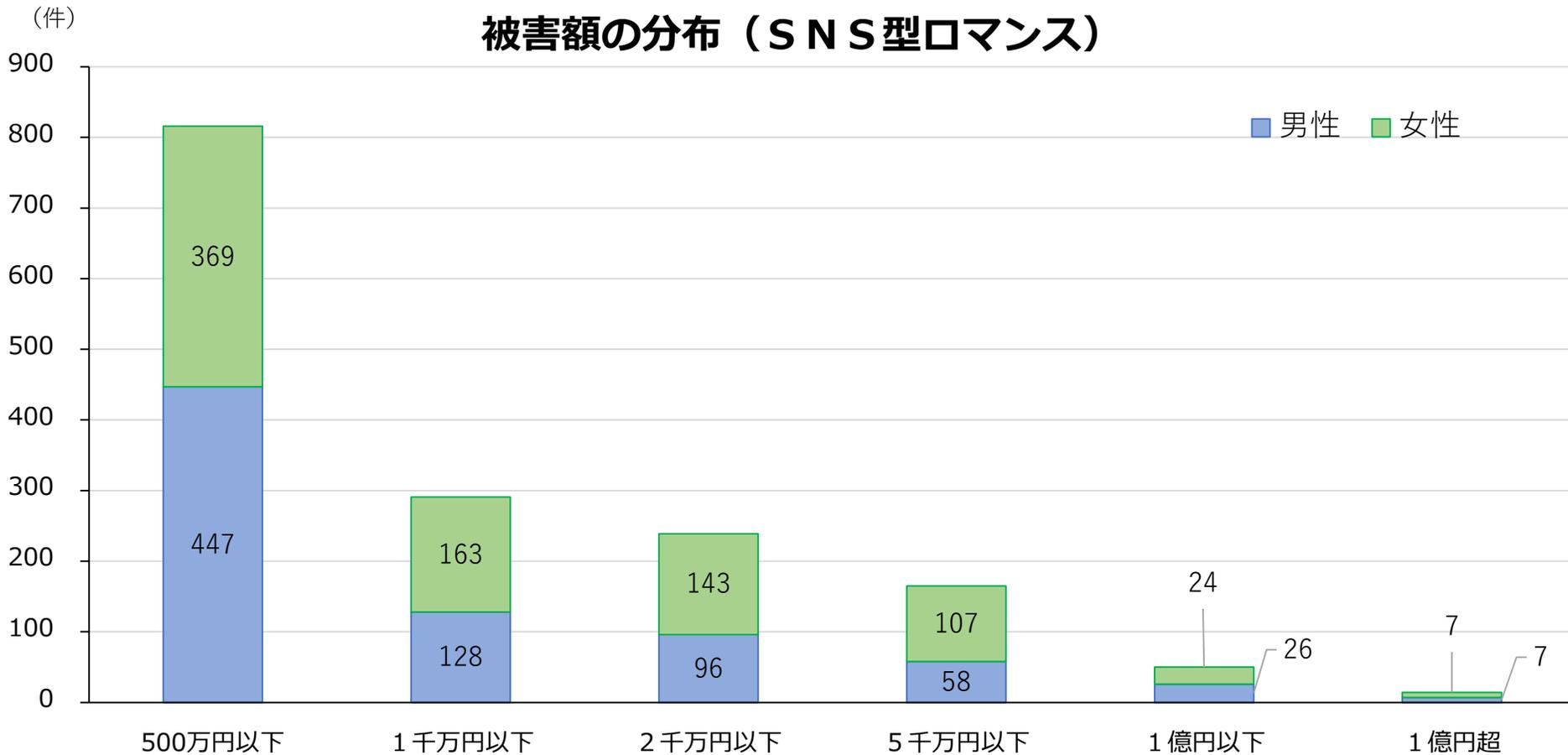
## 被害者の年齢層（SNS型ロマンス）



○女性の被害がやや多い

○男性・女性ともに40歳代から60歳代が多い

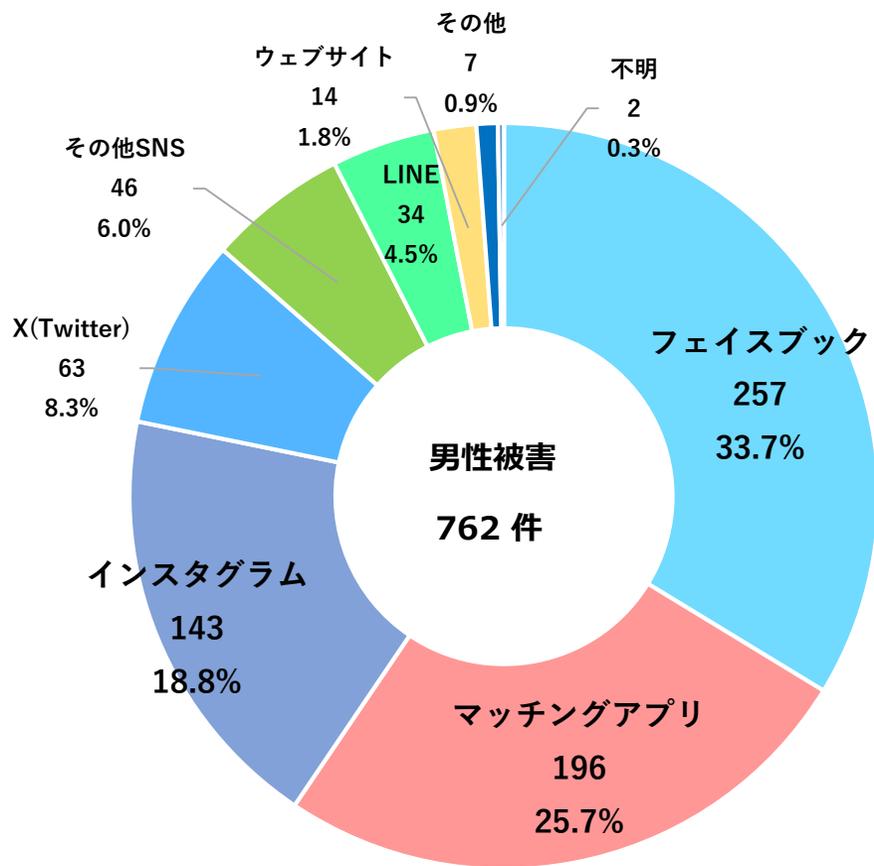
# SNS型ロマンス詐欺の被害額の分布（令和5年）



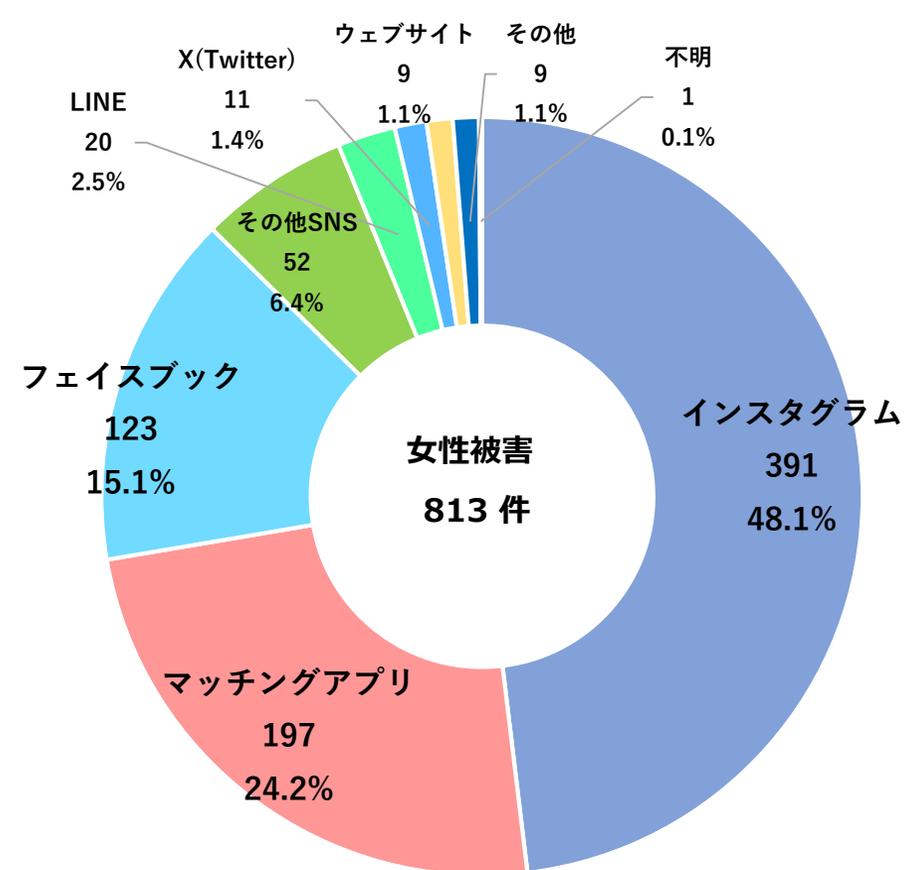
- 500万円以下の被害が多いが、1億円超の被害も発生
- 女性は被害額がやや高額になる傾向が認められる

# SNS型ロマンス詐欺に悪用された連絡ツール等（令和5年）

当初接触ツール 男性被害



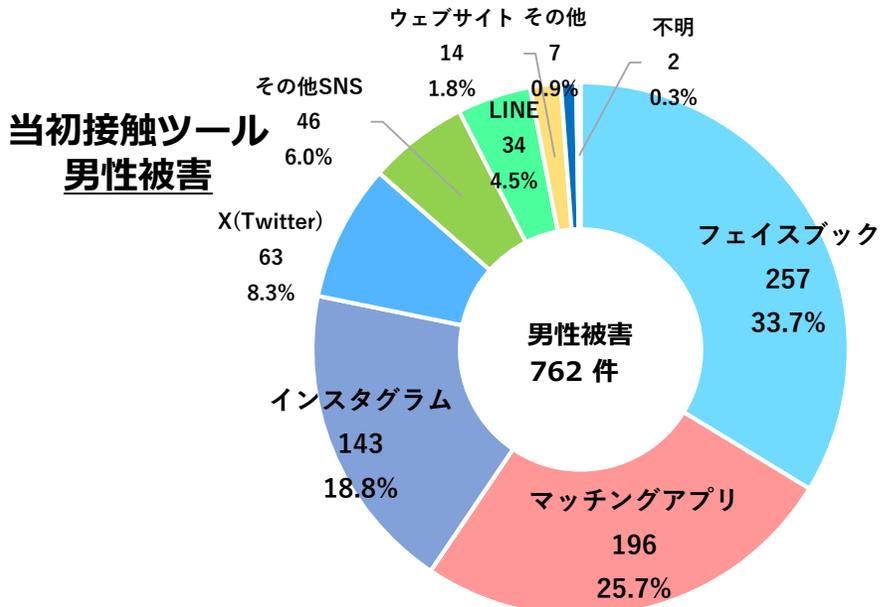
当初接触ツール 女性被害



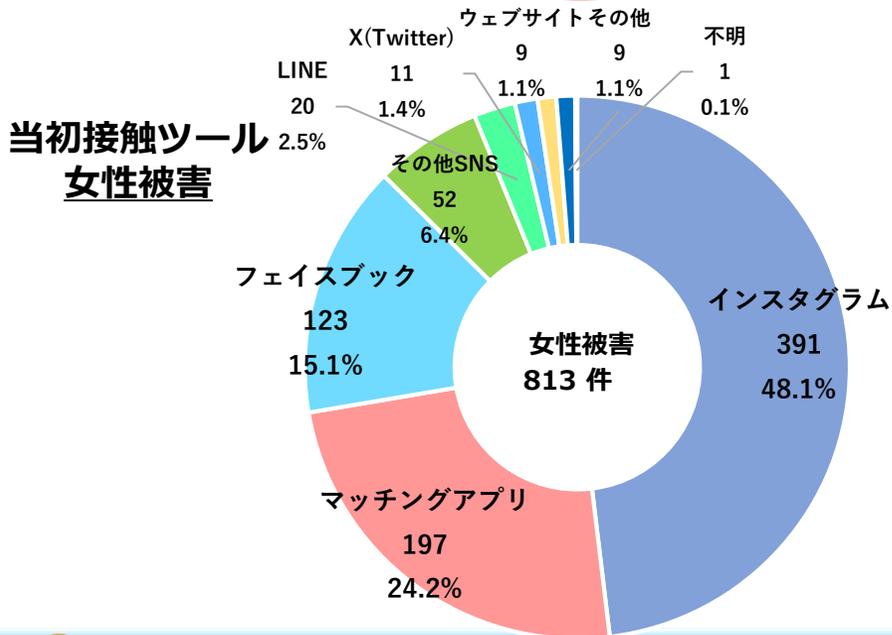
○当初接触ツールとして、いくつかの特定のサービスの利用が目立つ

# SNS型ロマンス詐欺に悪用された連絡ツール等（令和5年）

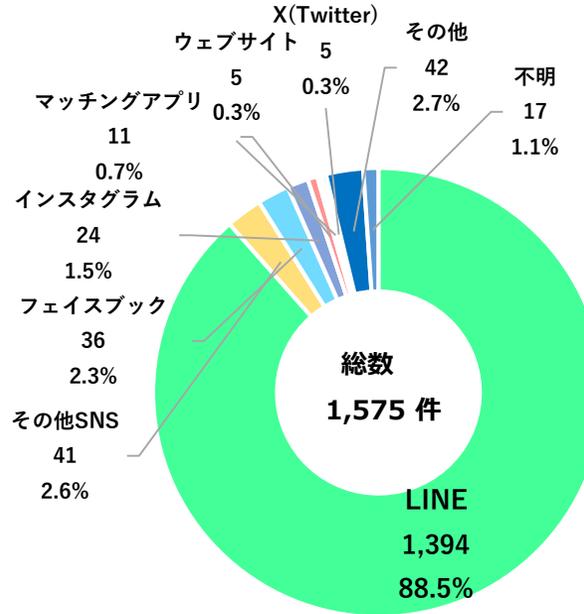
当初接触ツール  
男性被害



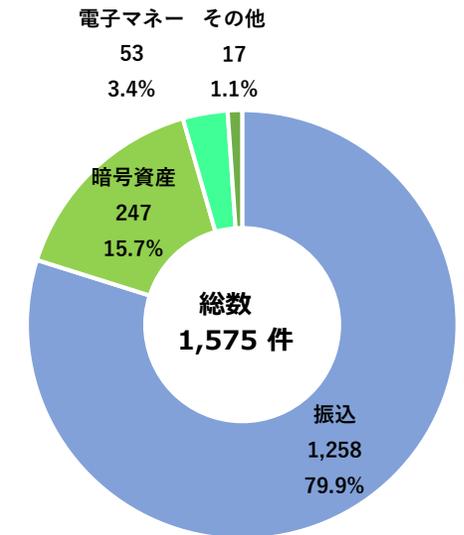
当初接触ツール  
女性被害



被害時の連絡ツール  
(欺罔が行われた主たる通信手段)



被害金の主たる交付形態

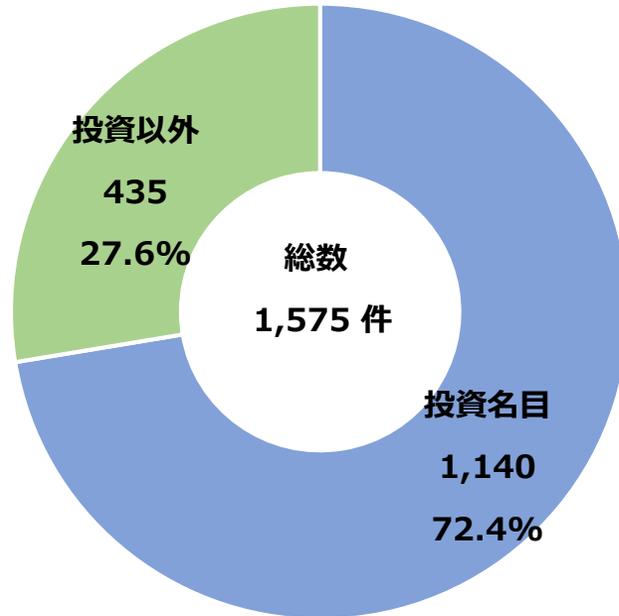


- 被害時の連絡ツールは特定のサービスが8割以上
- 交付形態は振込が約8割

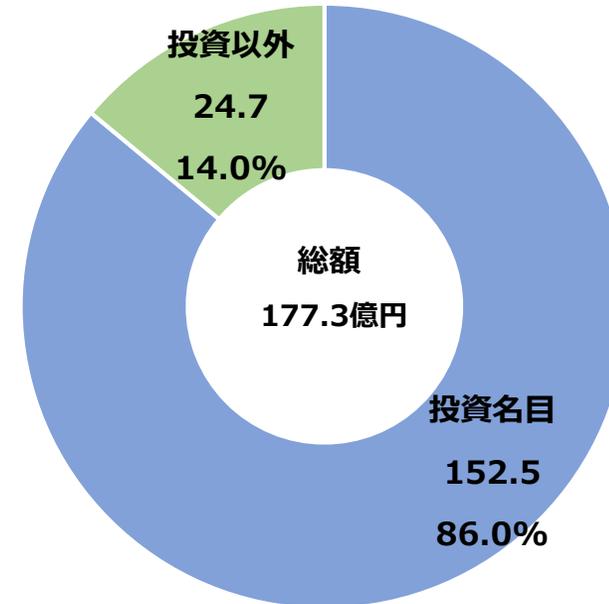


# SNS型ロマンス詐欺における金銭等の要求名目（令和5年）

金銭等の要求名目（認知件数ベース）

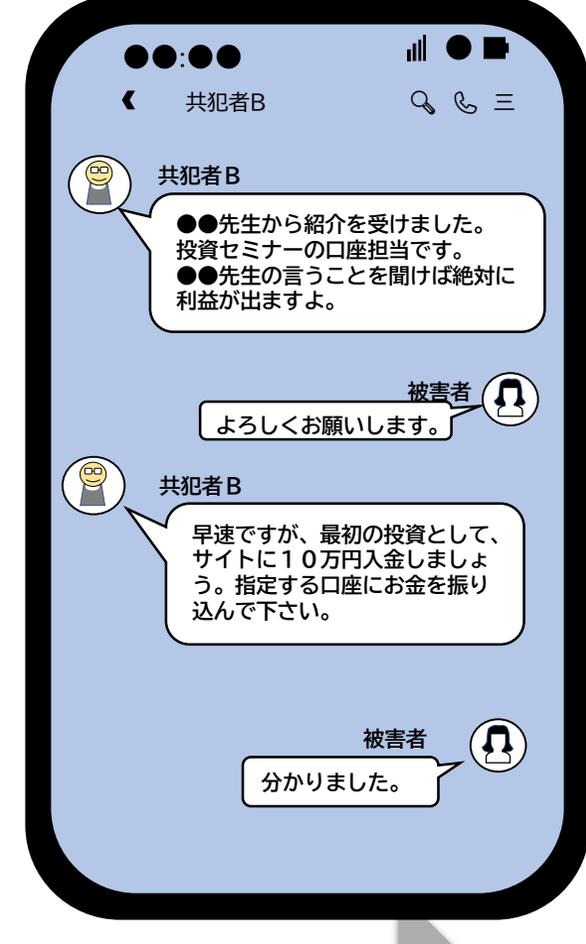
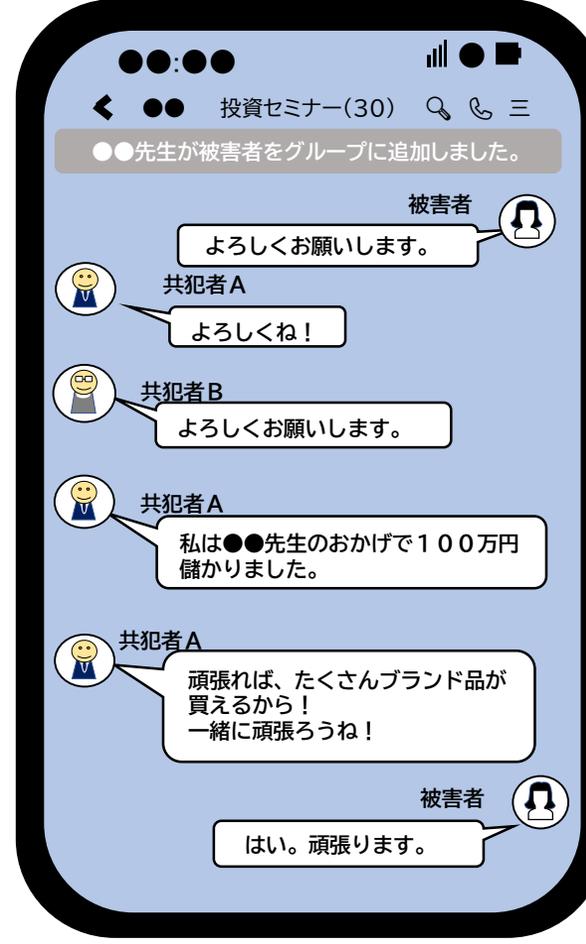
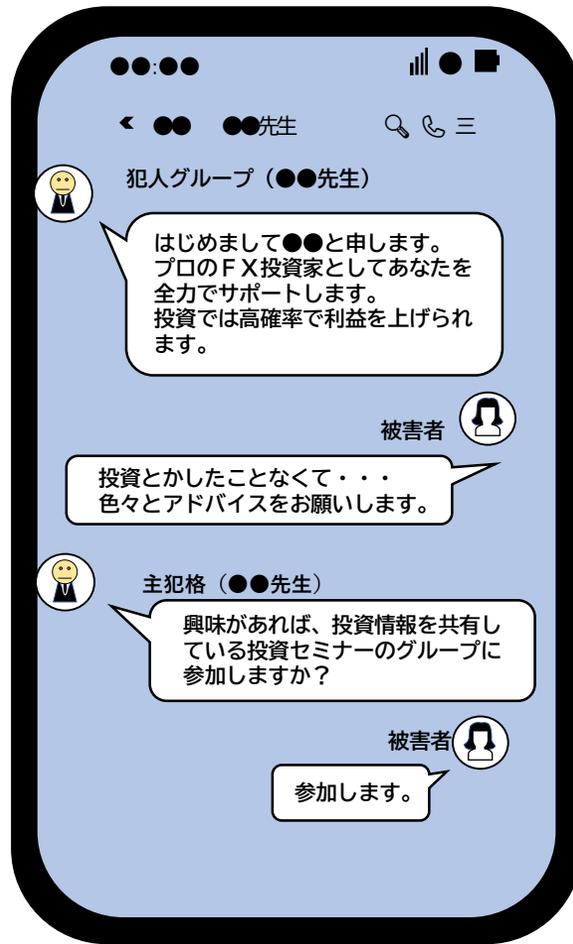


金銭等の要求名目（被害額ベース）



○恋愛感情や親近感を抱かせた上で、大半が投資話をもちかけられて金銭等を詐取される

# SNS型投資詐欺の被害に遭うまでの流れ（イメージ）



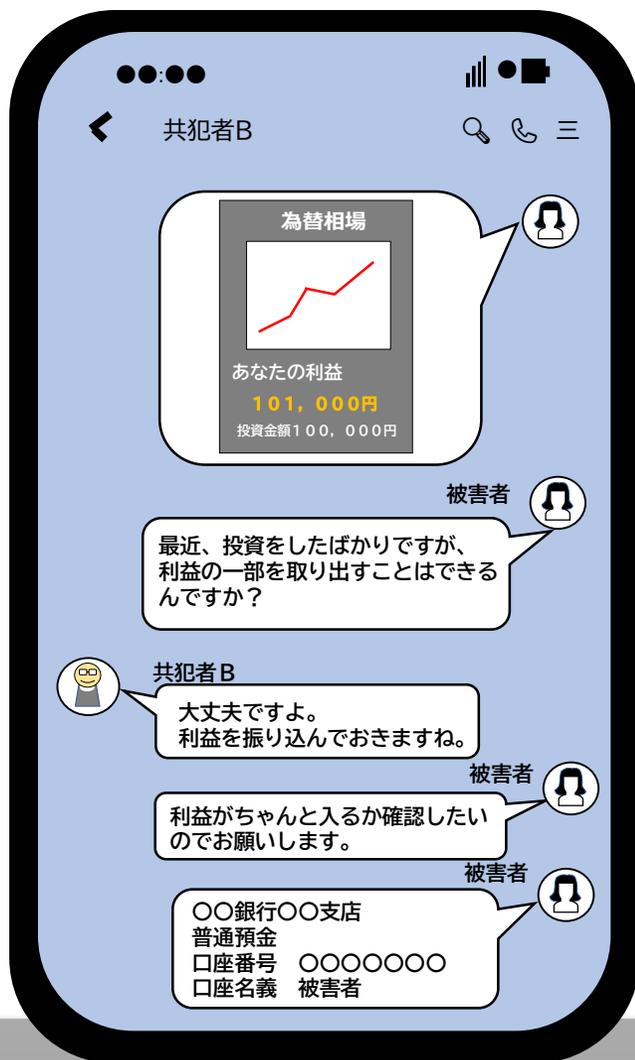
SNSの広告をタップ

犯人側との接触、**グループに招待**

儲かっているなどと**サクラ**が投稿

投資家やその**アシスタント**を名乗る者から振込指示

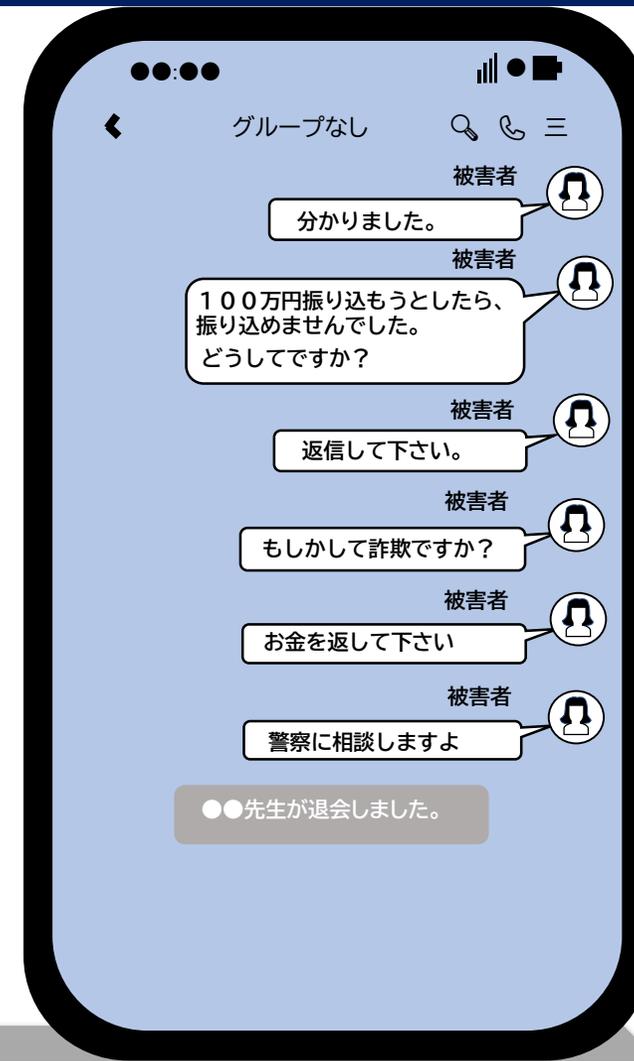
# SNS型投資詐欺の被害に遭うまでの流れ（イメージ）



偽の利益を掲載し、その一部（少額）を被害者口座へ振込



高額の偽利益を表示。全額引出のための手数料等を要求



突然、連絡が途絶える

# SNS型投資詐欺の具体的被害事例

## 事例①【被害者：60代女性、被害額：合計約1,400万円】

女性（60代）が、投資コンサルを自称する男から、「モニター会員を募集しています。」  
「絶対お得で儲かります。」「もっと金額を増やしたら利益が出ます。」などとSNSで  
言われ、指定された口座に複数回振り込み入金して、合計約1,400万円詐取された。

## 事例②【被害者：70代女性、被害額：合計約4,500万円】

著名人を自称する者やその助手を自称する者との間で、SNS上の投資グループになった後、  
指定された口座に複数回振り込み入金して詐取された上、「倍増プランがあります。」、「上  
位クラスでの取引があります。」などと提案され更に被害に遭った後、「監督当局によって資  
金が差し止めされている。」などと言われて出金できなくなった。

- 令和5年下半期において、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害が急増し、同年の合計被害額が450億円以上にのぼり、同年の特殊詐欺被害額（440億円）を上回る。
- これらの詐欺については、被害実態や詳細な犯行手口が必ずしも十分明らかではないため、被害実態等の早急な解明と対策が必要。

## 1 対策推進体制の構築

- 特殊詐欺対策及び匿名・流動型犯罪グループ対策と一体的に推進
- 関係部門横断的な体制を構築し、特殊詐欺捜査部門、生活経済事犯捜査部門、国際捜査部門、サイバー捜査部門等が、部門の垣根を越えて連携

## 2 実態解明等の推進

- 匿名・流動型犯罪グループをはじめとする犯罪組織が関与している可能性を視野に、事件捜査等で得た情報を分析し、実態解明を推進

## 3 全国警察が一体となった捜査の推進

- 特殊詐欺連合捜査班（T A I T）も活用し、被疑者の検挙や犯行拠点の摘発に向けた捜査を推進

## 4 外国捜査機関等との連携

- 外国捜査機関との情報共有、捜査共助等を実施
- 関連する国際会議等への出席を通じて、外国捜査機関との連携を深めるとともに、国際的な機運の醸成に努める

## 5 積極的な広報啓発

- 捜査等を通じて把握した手口や被害発生状況等を踏まえ、被害者となり得る国民に対する効果的な広報啓発を推進

## 6 関係省庁・関係事業者への働き掛け

- 関係省庁との連携強化
- SNS事業者、金融機関等の関係事業者とも緊密に連携し、官民一体となった被害防止策を推進
  - ・投資詐欺の入り口となる偽広告等への対策強化（偽広告等の審査・検知強化、警告や削除、関連が認められる広告の表示停止措置）
  - ・犯罪利用が疑われるアカウントの停止措置、関連が認められる新規アカウントの開設阻止
  - ・SNS利用者の本人確認の厳格化
  - ・知らない者からの検索拒否の初期設定化
  - ・SNS事業者の取組状況の開示 等